

3.11 Movie Festival



プロジェクトFUKUSHIMA!
監督：藤井 光



三一一映画祭

全32作品、一挙公開



先祖になる
監督：池谷 薫
Photo by Hiroko Masuike
©Ren Universe, Inc.



東北記録映画三部作 第一部「なみのこえ 気仙沼」
監督：酒井耕・濱口竜介
©東京電気大学



内部被ばくを生き抜く
監督：藤井ひとみ



字のなかの武器
監督：吉木 京



2014.3.9-30
3331 Arts Chiyoda
311movie.wawa.or.jp



2014.3.9-30 3331 Arts Chiyoda 311movie.wawa.or.jp



津波のあとの時間割
～石巻・門脇小・1年の記録～
監督：池田重利



立ち入り禁止区域・双葉
～それと我が故郷～
監督：佐藤武光



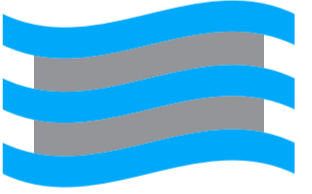
稲馬の花 第一部
奪われた土地の記憶
監督：松林豊樹
©松林豊樹



Documentary / Georges Rousse
Art Project in Miyagi (短編)
監督：中村大輔
©中村大輔



3月11日を生きて
～石巻・門脇小・ふびと・ことば～
監督：中村大輔



3.11 Movie Festival



三一一映画祭



うたごころ《2012年版》
監督：橋葉 健
©映画「うたごころ」製作委員会



3.11後を生きる
監督：中村大輔



311
監督：森達也・橋井雄祐・松林豊樹・
安藤 忠雄
©森達也・橋井雄祐・松林豊樹・安藤忠雄



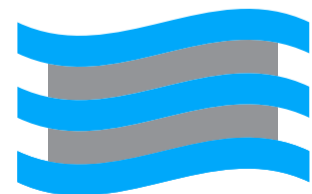
如鶴記(短編)
監督：津田浩和



架け橋 きこえなかった3.11
監督：中村大輔



大津波のあとに
監督：高尾啓一



3.11 Movie Festival



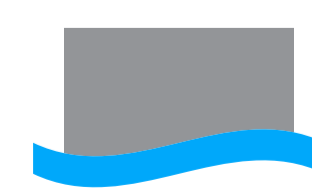
うたうひと
監督：酒井耕・濱口竜介
©silent voice



3.11 Movie Festival



大と猫と人間と2
動物たちの大震災
監督：中村大輔
©中村大輔



2014.3.9-30 3331 Arts Chiyoda 311movie.wawa.or.jp



石巻市立康小中学校避難
監督：藤川佳三
©2012 STANCE COMPANY INC/OUT



三一一映画祭



あの日～福島は生きている～
監督：藤川佳三
発行人：前田達彦 監督：中村大輔



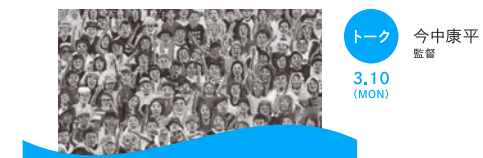
2014.3.9-30 3331 Arts Chiyoda 311movie.wawa.or.jp

東日本大震災に関する全32作品、一挙公開。

MOVIES

さまざまな道のりで復興へ向かう人々や、原発事故に翻弄される人々の日常を追った作品など、それぞれの監督が多様な視点から捉えた東日本大震災に関するドキュメンタリー映画を上映します。

上映作品



あの日～福島は生きている～

総合監修：是枝裕和／発起人：前内道彦
監督：今中康平／2012年／99分

あの日が、映画になる。2011年9月、震災そして原発事故から半年しか経っていない福島で開催された「LIVE福島 風とロックSUPER野馬渡」。その場に参加した人たちの“その後”を、誰にでも訪れる日常として、静かに捉えた作品。



3.11後を生きる

監督：中田秀夫／2012年／85分

震災から半年後の津波に流された町。深い悲しみの中で苦しみで耐えながら懸命に生きる人々は、どんな思いで生きようとし、どんな決断、決意をしたのだろうか…。そこで生きる人々に隠された報道では聞かれない事実を伝える。



先祖になる

監督：池谷薫／2012年／118分

岩手県陸前高田市で農林業を営む男、佐藤直志77歳。千年に1度の東日本大震災で家を壊され、消防団員の長男は波にのまれた彼の葬祭は、元の場所に家を再建すること。数々の壁を乗り越えて、果たしてその夢は叶うのか。



ミツバチの羽音と地球の回転

監督：鎌仲ひとみ／2010年／135分

原発建設計画に長年向き合い続ける瀬戸内海祝島の人々と、脱石油・脱原発建設を決め、自給エネルギーへとシフトし、持続可能な社会作りが進む北欧のスウェーデン。持続可能な社会は暮らしとは？私たちの今はどこへ向かうのか。



石巻市立渡小学校 避難所

監督：藤川佳三／2012年／124分

家や家族を失った人たちが、ここで大きな家族になった。悲しき、悔しき、それでも残るのは温もりだった。人って、こんなふうにつながりたいものはないだろうか。石巻市立避難所閉鎖までのヒーローマン・ドキュメント。



3月11日を生きて～石巻・門脇小・人びと・ことば～

監督：青池憲司／2012年／97分

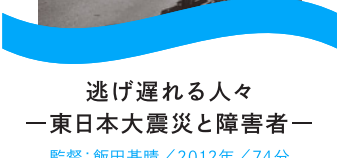
津波と火災で壊滅的な被害を受けた、石巻市立門脇小学校。かつて体験したことのない危機を乗り越えて生きた約16時間（11日午後2時40分から12日朝まで）を、37人の「ことば」＝証言で綴る。ことばはそのとき、どんな力を持つのか。



手のなかの武器

監督：吉本涼／2012年／68分

震災後、被災地へ向かった若者たちは葛藤と無力感に押しつぶされそうになる。それでも、「少しでも被災者の為になりたい。」という思いを表現しようとする人々。彼らは、被災地に希望をもたらす事が出来るのか？



逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者～

監督：飯田基晴／2012年／74分

障害があるということは災害時には普段以上のハンディとなる。震災の中、障害のある人々に何が起きたのか。福島県を中心に、被災した障害者とその関わる人々の証言をまとめた。そこで浮かび上がってきたさまざまな課題や問題とは？



無常素描

監督：大宮浩一／2011年／75分

あの日から一ヶ月あまり――。一人の映画作家が、尼崎の町医者とともに被災地へ向かっていった。そこで出逢った人々は、静かに語り始める。一台のカメラが、その声と風景を何度も往復しながら、ただひたすらに素描を重ねていく。



犬と猫と人間と2 動物たちの大震災

監督：森元修一／2011年／104分

被災した犬や猫、そして牛などの多くの動物たちと、彼らの命を救おうと奮闘する人々の姿を追いかける。いくつもの別れと出会いを見守りながら、困難に立ち向かう姿を通して、いのちの意味を問う。



相馬看花 第一部 奪われた土地の記憶

監督：佐藤武光／2011年／109分

2011年4月3日、福島第一原発から20キロ圏内にある南相馬市原町区江井地区に松林は向かった。避難所で寝泊まりしながら、現地の人々の表情と肉声を間近から捉えることで、原発事故によって奪われた土地の記憶へと迫っていく。



内部被ばくを生き抜く

監督：鎌仲ひとみ／2012年／80分

「内部被ばく」に関しての異論、異説、そして放射能汚染、どちらもまだらなグラデーションを描いている。どうやってこの「内部被ばく」の時代を私たちは生き抜くことができるか、最前線で格闘する人々の声に耳を傾けた。



プロジェクトFUKUSHIMA!

監督：藤井光／2012年／90分

2011年、震災後の福島で、音楽家の遠藤ミチロウ、大友良英、詩人の和合亮一らを中心にプロジェクトFUKUSHIMA!が立ち上がった。放射線に関する不確かな推測が錯乱の中で、芸術家たちの行動を考察する。



LIGHT UP NIPPON 日本を照らした奇跡の花火

監督：柿本ケンサク／2012年／99分

2011年8月11日、被災地や日本全体を元気づけよう、太平洋沿岸の被災地を中心に10カ所で同時に花火を打ち上げたプロジェクトに到着。一人の男の情熱と、現地の人々の生き生きとした姿を映し出す。



大津波のあとに

監督：森元修一／2011年／74分

震災発生から12日後、単独で被災地に向かった森元監督が宮城県沿岸部の町がどのような状況にあったのか、ナレーションも音楽も入れずにそこに住む人々の視線で震災直後の空気をそのままに伝えようとした記録映画。



立入り禁止区域・双葉～されど我が故郷～

監督：佐藤武光／2011年／99分

震災の直後から、故郷・双葉を心配した佐藤武光はカメラを携えて動き出した。双葉郡は原発事故により「立入禁止区域」となり、震災の被害も放置され、住民は「避難所・仮設住宅の暮らし」を強いられていた。



内部被ばくを生き抜く

監督：鎌仲ひとみ／2012年／80分

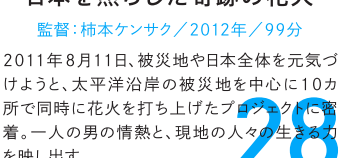
「内部被ばく」に関しての異論、異説、そして放射能汚染、どちらもまだらなグラデーションを描いている。どうやってこの「内部被ばく」の時代を私たちは生き抜くことができるか、最前線で格闘する人々の声に耳を傾けた。



プロジェクトFUKUSHIMA!

監督：藤井光／2012年／90分

2011年、震災後の福島で、音楽家の遠藤ミチロウ、大友良英、詩人の和合亮一らを中心にプロジェクトFUKUSHIMA!が立ち上がった。放射線に関する不確かな推測が錯乱の中で、芸術家たちの行動を考察する。



LIGHT UP NIPPON 日本を照らした奇跡の花火

監督：柿本ケンサク／2012年／99分

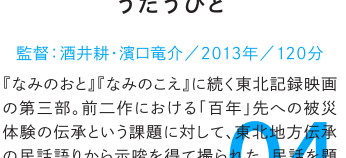
2011年8月11日、被災地や日本全体を元気づけよう、太平洋沿岸の被災地を中心に10カ所で同時に花火を打ち上げたプロジェクトに到着。一人の男の情熱と、現地の人々の生き生きとした姿を映し出す。



うたうひと

監督：酒井耕・濱口竜介／2013年／120分

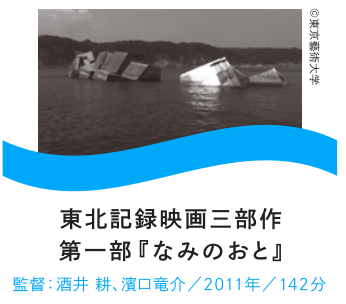
『なみのおと』『なみのこえ』に続く東北記録映画の第三部。前二作における「百年」先への被災体験の伝承という課題に対して、東北地方傳承の民話語りから示唆を得て撮られた。民話を題材にした貴重な伝承映画。



うたごころ 《2012年版》

監督：橋葉健／2011-2013年／113分

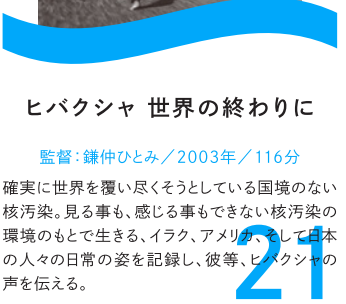
震災による苦難が人々にし掛かる中、それに屈せず、ひたむきに生きる女子高校生たちの「再生の日々」を記録。津波で親類5人と自宅を失った宮城県南三陸町の女子高校生と大阪のブロンズカーたちが「合唱」を通して、人の「絆」を深めていく。



東北記録映画三部作 第一部『なみのおと』

監督：酒井耕・濱口竜介／2011年／142分

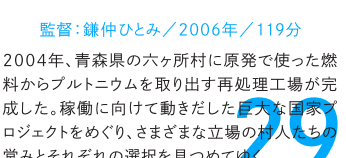
2011年3月11日の津波被害を受けた三陸沿岸部に暮らす人々の「対話」を撮り続けたドキュメンタリー映画。姉妹、夫婦、消防団仲間など数々のものが、震災について見つめ合い語り合う「口承記録」の形がとられている。



ヒバクシャ 世界の終わりに

監督：鎌仲ひとみ／2003年／116分

確実に世界を覆い尽くそうとしている国境のない核汚染。見る事も、感じる事もできない核汚染の環境のもとで生きる、イラク、アメリカ、そして日本の人々の日常の姿を記録し、彼等、ヒバクシャの声を伝える。



六ヶ所村ラブソニー

監督：鎌仲ひとみ／2006年／119分

2004年、青森県の六ヶ所村に原発で使った燃料からプルトニウムを取り出す再処理工場が完成した。稼働に向けて動き出した巨大な国際プロジェクトをめぐる、さまざまな立場の村人たちの営みとそれぞれの選択を見つめていく。



friends after 3.11《劇場版》

監督：岩井俊二／2013年／135分

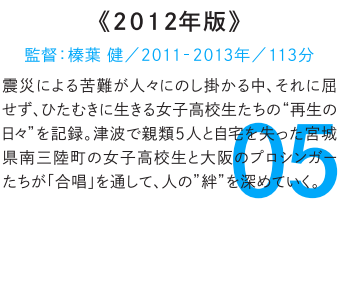
独自の映像世界で定評のある岩井監督が、震災以降に出会った人々、そして久しぶりに再会した友人と語る「日本の未来」。「友人」たちが語る真直ぐな想いは、忘れてはならない真実と共に、わたしたちの心に突き刺さる。



フタバから遠く離れて

監督：松橋淳／2012年／96分

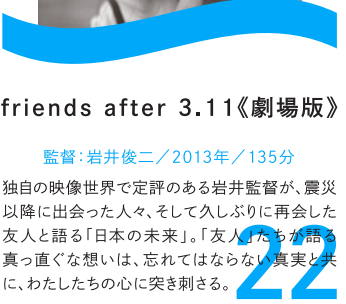
全面立入禁止の警戒区域となり、1400人が250km離れた埼玉県の高校へ避難した双葉町。かつては原発によって潤い栄えたとされる町が、震災で先の見えない待たせられた避難所の時間を9ヶ月にわたって映し出す。



わすれない ふくしま

監督：四ノ宮浩／2013年／98分

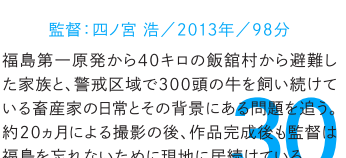
福島第一原発から40キロの飯館村から避難した家族と、警戒区域で300頭の牛を飼いつけている畜産家の日常とその背景にある問題を、約20ヵ月による撮影の後、作品完成後も監督は福島を忘れないために現地に居続けた。



缶詰日記(短編)

監督：岸田浩和／2012年／15分

東日本大震災で被災した宮城県石巻市の水産加工会社「木の屋石巻水産」が会社再建に向け奮闘する現地の様子と、三陸沿岸部の町が連日1年間を記録。



Documentary/Georges Rousse Art Project in Miyagi(短編)

監督：高平大輔／2013年／8分

宮城県松島湾にある解体前のカフェで行われたアートプロジェクトの記録。東北に携り続ける高平監督とプロジェクトメンバーが「その後の始まり」について話し合うトークイベント(11月15日)とともに上映します。



架け橋 きこえなかった3.11

監督：今村彩子／2013年／74分

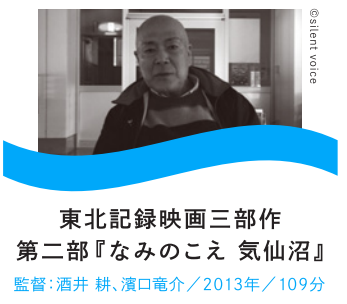
津波警報が聞こえなかった――。東日本大震災の11日後に宮城を訪れ、2年4ヶ月かけて取材。一般のテレビや新聞で報道されなかった鮮やかなこえない人たちの現状を伝える。



津波のあとの時間割～石巻・門脇小・1年の記録～

監督：青池憲司／2012年／125分

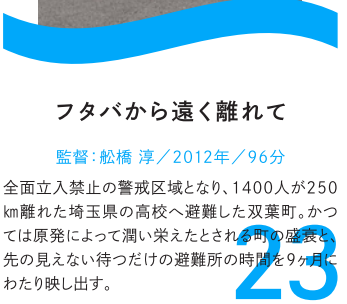
壊滅的な被害を受けた石巻市立門脇小学校に、震災後の6月からカメラを据えて1年。教室と地域、こどもとおとなの再生の日々を、石巻の四季とともに綴り上げる。



東北記録映画三部作 第二部『なみのこえ 気仙沼』

監督：酒井耕・濱口竜介／2013年／109分

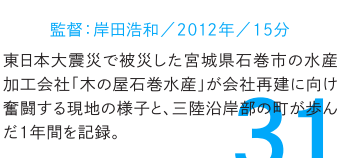
酒井耕・濱口竜介の共同監督による東北記録映画三部作 第二部の気仙沼編。前作『なみのおと』の手法を受け継ぎながらも、震災から時間を経って記録された対話者たちの表現はより自立性を増し、様々な声の混交する町の肖像が描かれる。



僕らはココで生きていく

監督：下山和也／2013年／103分

瓦礫の街で立ち上がる人々がいた。支えたいと奮闘する若者たちがいた。そこには音楽が、笑顔があった。そして答ええなかった「どうやって先の見えない待たせられた避難所の時間を9ヶ月にわたって映し出す。



Documentary/Georges Rousse Art Project in Miyagi(短編)

監督：高平大輔／2013年／8分

宮城県松島湾にある解体前のカフェで行われたアートプロジェクトの記録。東北に携り続ける高平監督とプロジェクトメンバーが「その後の始まり」について話し合うトークイベント(11月15日)とともに上映します。



3.11

監督：森達也・楠井健輔・松林要樹・安岡卓治／2011年／92分

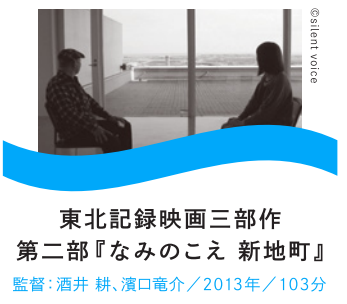
震災発生から2週間後、被災地へと向かう4人の男。津波に飲みこまれ行方不明のわが子を探す親たちの言葉が、メディアの姿勢も問う。遺書を目の前にしながらビデオカメラを廻し続ける彼らにも厳しい批判が向けられる。



津波のあとの時間割～石巻・門脇小・1年の記録～

監督：青池憲司／2012年／125分

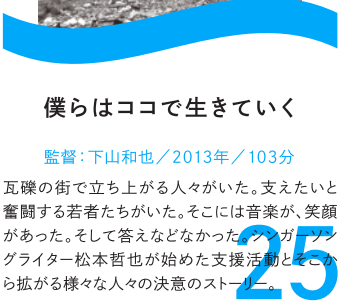
壊滅的な被害を受けた石巻市立門脇小学校に、震災後の6月からカメラを据えて1年。教室と地域、こどもとおとなの再生の日々を、石巻の四季とともに綴り上げる。



東北記録映画三部作 第二部『なみのこえ 新地町』

監督：酒井耕・濱口竜介／2013年／103分

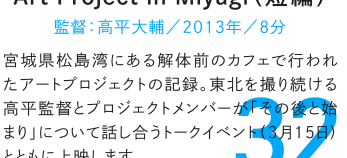
酒井耕・濱口竜介の共同監督による東北記録映画三部作 第二部の新地町編。前作『なみのおと』の手法を受け継ぎながらも、震災から時間を経って記録された対話者たちの表現はより自立性を増し、様々な声の混交する町の肖像が描かれる。



僕らはココで生きていく

監督：下山和也／2013年／103分

瓦礫の街で立ち上がる人々がいた。支えたいと奮闘する若者たちがいた。そこには音楽が、笑顔があった。そして答ええなかった「どうやって先の見えない待たせられた避難所の時間を9ヶ月にわたって映し出す。



Documentary/Georges Rousse Art Project in Miyagi(短編)

監督：高平大輔／2013年／8分

宮城県松島湾にある解体前のカフェで行われたアートプロジェクトの記録。東北に携り続ける高平監督とプロジェクトメンバーが「その後の始まり」について話し合うトークイベント(11月15日)とともに上映します。

SCHEDULE

※終了時間は作品によって異なります。開始時刻の目安としてご覧ください。※全席自由、入れ替え制で、開始15分前から入場整理券、または予約のお客様からのご入場となります。※入場整理券は、当日上映分を初回上映の30分前より配布いたします。※上映作品、上映時間、スケジュールは予告なく変更することがあります。※会場内は、フタ付きの飲み物及び、館内のショップ(3331CUBE shop&gallery)で販売している飲食物のみ持ち込みが可能です。※会場内は、カメラや携帯などのいかなる機材においても録音/録画/撮影を禁止しております。

スケジュール

	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
3.9 SUN							オープニングパーティー(招待制)	28 LIGHT UP NIPPON 日本を照らした奇跡の花火			
10 MON			17 東北記録映画三部作 第一部『なみのおと』			24 プロジェクトFUKUSHIMA!		01 あの日～福島は生きている～ +トーク			
11 TUE			特別 講義 3.11 減災会議	3.11 黙祷		14 津波のあとの時間割 ～石巻・門脇小・1年の記録～		05 うたごころ《2012年版》			
12 WED			08 311			特別上映 + トーク 相馬高校からあなたへ		27 無常素描			
13 THU			21 ヒバクシャ 世界の終わりに			07 架け橋 きこえなかった3.11		20 逃げ遅れる人々 -東日本大震災と障害者-			
14 FRI			10 3月11日を生きて			19 東北記録映画三部作 第二部『なみのこえ 新地町』		06 大津波のあとに			
15 SAT	09 3.11後を生きる				25 僕らはココで生きていく +トーク			特別 トーク ジョルジュ・ルースアート プロジェクトin宮城			
16 SUN	13 立入禁止区域・双葉 ～されど我が故郷～				23 フタバから遠く離れて +トーク			30 わすれない ふくしま			
17 MON			12 相馬看花 第一部 奪われた土地の記憶			30 わすれない ふくしま		特別 トーク 新しいフクシマをつくる			
18 TUE			13 立入禁止区域・双葉 ～されど我が故郷～			14 津波のあとの時間割 ～石巻・門脇小・1年の記録～		07 架け橋 きこえなかった 3.11			
19 WED			20 逃げ遅れる人々 -東日本大震災と障害者-			28 LIGHT UP NIPPON 日本を照らした奇跡の花火		03 犬と猫と人間と2 動物たちの大震災			
20 THU			27 無常素描			22 friends after 3.11 《劇場版》		31 缶闘記(短編) 15 手のなかの武器			
21 FRI	02 石巻市立湊小学校避難所				05 うたごころ《2012年版》 +トーク			23 フタバから遠く離れて			
22 SAT	22 friends after 3.11 《劇場版》				24 プロジェクトFUKUSHIMA! +トーク			08 311			
23 SUN	21 ヒバクシャ 世界の終わりに			29 六ヶ所村ラブソニー		16 内部被ばくを生き抜く +トーク		26 ミツバチの羽音と 地球の回転			
24 MON			31 缶闘記(短編) 15 手のなかの武器			25 僕らはココで生きていく		12 相馬看花 第一部 奪われた土地の記憶			
25 TUE			06 大津波のあとに			18 東北記録映画三部作 第二部『なみのこえ 気仙沼』		22 friends after 3.11 《劇場版》			
26 WED			02 石巻市立湊小学校避難所			29 六ヶ所村ラブソニー		09 3.11後を生きる			
27 THU			03 犬と猫と人間と2 動物たちの大震災			04 うたうひと		10 3月11日を生きて			
28 FRI			26 ミツバチの羽音と 地球の回転			01 あの日～福島は生きている～		19 東北記録映画三部作 第二部『なみのこえ 新地町』			
29 SAT	17 東北記録映画三部作 第一部『なみのおと』				18 東北記録映画三部作 第二部『なみのこえ 気仙沼』		04 うたうひと +トーク				
30 SUN	28 LIGHT UP NIPPON 日本を照らした奇跡の花火				11 先祖になる +トーク						

EVENTS

イベント

1日2～3回の映画作品上映に織り交ぜ、監督や出演者、復興活動に携わる方々によるトークイベントを開催します。また、館内では関連作品の展示や復興支援プロダクトの販売も行います。

※席のご予約は公式サイトから受付けております。

3.11 減災会議、まちづくりの日常からの減災

講師：中林一樹
(明治大学政治経済学研究所特任教授)
3.11 (TUE) 13:00-14:15
場所：コミュニティスペース
定員：80名 参加無料・予約可

特別
講義

近い未来に地震が東京を襲ったとき、どのような被害が待っているのか。講師として、都市防災の専門家である中林一樹先生をお招きし、映像資料とともに自分たちが起すべき次の行動について一緒に考えていきたいと思います。



相馬高校からあなたへ

相馬高校生徒
3.12 (WED) 16:00-17:30
場所：特設ギャラリー
定員：40名
参加無料・予約可

特別トーク
+ 上映

福島県立相馬高校の女子生徒3名が震災への思いを込め、制作した短編映像(ドキュメンタリー2作品、ドラマ1作品)を上映。映画監督の是枝裕和さんが監修しました。上映後、トークセッションを行います。



福島第一原発観光地化計画

特別トーク

新しいフクシマをつくる ～福島第一原発観光地化計画～

東浩紀(哲学者/作家)、井出明(観光学者)、津田大介(ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)、モデレーター：五十嵐太郎(建築評論家)

3.17 (MON) 19:00-21:00

場所：特設ギャラリー

定員：40名

共通1回券またはフリーパス・予約可

まったく新しい福島の復興計画「福島第一原発観光地化計画」を通じ、ポジティブな未来としての福島を考えていきます。福島の復興を多様な価値観で考察するためのヒントが満載、このひらかれたトークにぜひご参加ください。

販売



3.11 黙祷

3.11 (TUE) 14:15-受付開始
場所：コミュニティスペース
定員：80名 参加無料

講義後、上映+トークプログラム前、東北地方太平洋沖地震が発生した時刻である14時46分、会場内にいるすべての人々が黙祷を捧げます。



復興支援プロダクト販売「わわや」

アーツ千代田の併設ショップ「3331 CUBE shop&gallery」にて、復興支援商品の販売を行います。「わわや」は3.11後、復興支援を目的につくられた多様な商品を展示・販売する出張ショップです。火曜定休。

上映+
展示

ジョルジュ・ルース・アート プロジェクトin宮城

会期中無休 12:00-19:00
場所：103号室(映画祭上映会場となり)
入場無料

阪神・淡路大震災に空間の記憶を残すプロジェクトを行ったフランスのアーティスト・ジョルジュ・ルースが、東日本大震災の被害を受け、取り壊しが決定した宮城県松島のカフェ・ロワンにて行ったプロジェクト。2つの写真作品のほか、ジョルジュ・ルースとスタッフの手によってカフェ・ロワンが作品に変わっていくプロセスをおさめた映像も上映。(3/15に関連トークプログラムあり。)



TICKET

チケット

- 共通1回券で、期間中すべてのプログラムからお好きなものを1回ご覧いただけます。
- 無料のトークイベント(3/11,12)もございます。
- 「上映」は当日会場にて整理券をお配りします。「上映+トーク」ほかトークはwebからの事前予約が可能です。

※会場は一般的な映画館ほどの環境が整っておりません。続けて作品を鑑賞されるお客様は、クッションや座布団などのご持参をおすすめします。(会場にクッションをご用意しておりますが数に限りがございます。)

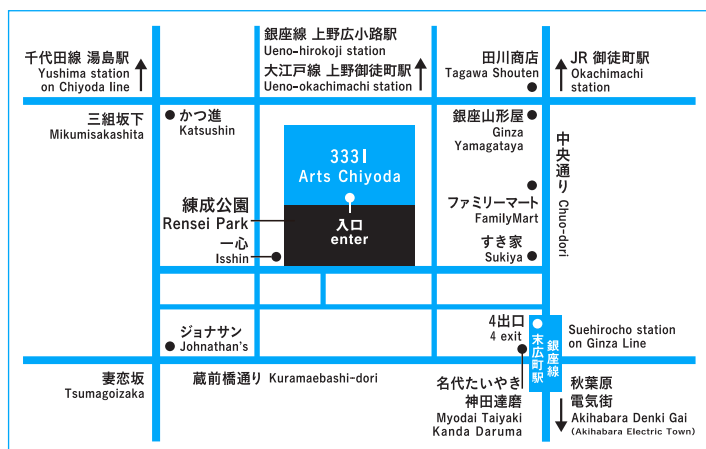
	前売り	Web割	通常	千代田区民割 シニア割
共通1回券	700円	900円	1,000円	700円
5回セット券	3,250円	4,250円	4,500円	3,250円
フリーパス (書籍付)	10,000円	14,000円	15,000円	10,000円
販売	Webのみ		アーツ千代田 3331総合受付	
期間	～3/8		3/9～	

- ◎3/11のみ会場にて前売り券を発売します。
- ◎フリーパスをお買い上げのお客様には、書籍「つくりが生きること(2,310円)」を無料でプレゼントします。
- ◎共通券1枚につき200円が基金となります。チケットに付属の「応援券」を、支援したい団体の募金箱へ投函ください。(フリーパスのみ別途設定あり)
- ・千代田区民割：千代田区にお住まいの方。住所が記載された身分証をご提示ください。
- ・シニア割：65歳以上の方。生年月日が記載された身分証をご提示ください。
- ・高校以下無料：高校生は学生証をご提示ください。
- ・ウェブサイトで購入したチケットのお渡しは、各日初回上映時間の30分前～19時まで(9日のみ17:30～)上映会場入口の受付にて承ります。ご案内のQRコードをご提示ください。

チケットに関する問合せ先：コマンドN<担当：高村>
TEL 080-4150-2550(10:00～19:00)
アーツ千代田 3331総合窓口 営業時間：10:00～21:00(定休なし)

ACCESS

アクセス



アーツ千代田3331 3331 Arts Chiyoda

〒101-0021
東京都千代田区外神田6丁目11-14
TEL:03-6803-2441(代)

東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分、
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分、
都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分、
JR御徒町駅南口より徒歩7分、
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分

INFOMATION

インフォメーション

上映スケジュールや各作品の詳細は3.11映画祭HPをご覧ください。

<http://311movie.wawa.or.jp>

<https://www.facebook.com/WaWaProject>

<https://twitter.com/WaWaProject>

